

基本方針

大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場運営理念
スポーツの力で都民のウェルビーイング向上に寄与する
「アクティブスポーツコミュニティ・大井ホッケー競技場」の実現

設置目的および管理基準に沿った当団体運営理念・基本方針の設定

- 当団体は、本施設の設置目的から“スポーツの力で都民のウェルビーイング向上に寄与する”「アクティブスポーツコミュニティ・大井ホッケー競技場」の実現を運営理念とし、競技力強化、普及・振興をはじめ、地域住民の気軽なスポーツやアクティビティができる、そしてスポーツやアクティビティを通じて人や地域との交流ができるなど、様々な体験価値を提供することで都民のウェルビーイング向上に貢献する考えです。
管理運営基準の基本方針に沿って、当団体は次の5つの基本方針を設定します。

- 方針1 スポーツの力で都民の“元気づくり”
方針2 利用者ニーズを踏まえた“サービス・魅力づくり”
方針3 競技振興を推進する“ネットワークづくり”
方針4 安心・安全で快適な“環境づくり”
方針5 効果的かつ効率的な管理運営を実現する“体制づくり”

競技大会誘致に向けた施策

年間40大会以上の開催実績を参考に競技団体と連携した誘致活動の実施

- 競技大会の開催実績が多い(公社)日本ホッケー協会や(一社)東京都ホッケー協会、(公社)日本ラクロス協会等の競技団体との連携により、過去2年間の開催実績を参考に、ホッケー競技25件、ラクロス競技15件、その他競技5件の大会誘致を目標基準値として、毎年トータルで40件以上の誘致を実現する考えです。

Table with 3 columns: 競技種目, 令和5年度, 令和6年度. Rows include ホッケー, ラクロス, タッチラグビー, フラッグフットボール, フットサル, and 計.

【競技大会の開催実績(過去2年間)】

管理運営の目標

本施設の設置目的の達成、安心・安全で快適な施設を目指して3つの目標を設定

- 当団体は、本施設の管理運営目標として次の3項目を掲げて計画的に業務を遂行します。

- 目標① 競技大会 年間誘致『40件以上』の実現
目標② 利用者満足度(対昨年)『全項目向上』の実現
目標③ 重大な事故発生『0(ゼロ)件』の実現

競技の普及振興(スポーツ振興事業)

日本を代表する施設で競技を体感できるホッケー・ラクロス体験会の実施

- 日本を代表するホッケー、ラクロスの競技施設で、競技の実際の動きとともに代表選手になった気分も体感できる体験会を競技団体と連携して企画運営します。
次世代への競技の普及・振興を図るため、各競技団体の普及担当等と連携し、子どもや同行される保護者も来場しやすい内容を企画することで、気軽に参加していただけるように配慮します。

【ホッケー競技体験会例】

様々なスポーツの体験会、施設の無料開放と自主事業プログラムの無料体験会の実施

- 次世代に必要とされるマルチスポーツの考えから、子どもたちが安全に楽しく競技に触れることができるタッチラグビーやフラッグフットボール等の体験会を競技団体と連携して企画運営します。
施設の無料開放では競技体験コーナーや子どもの遊びコーナーの設置や、多世代を対象に実施する自主事業プログラムの無料体験会も同時に実施します。



【様々なスポーツ体験会】

競技の普及振興(スポーツの日記念事業)

スポーツの日記念事業での1日まるごとホッケー・ラクロスイベントの実施

- スポーツの日記念事業では、ホッケー競技のトップアスリートを講師とするクリニックや、ホッケー・ラクロスを自由に体験できるコーナーを設置し、競技者から未経験者まで競技を「する」機会を提供します。
学生や社会人等のエキシビジョンマッチにて、競技のルールや見どころなどについて分かりやすい解説を加えたエキシビジョンマッチ観戦イベントを企画し、多くの都民に「みる」機会を提供し、競技振興を図ります。
東京2020大会を記念し、後世に伝えるためのホッケー競技に関する物品や資料等の貴重なアーカイブ資産を有効活用し、スポーツの日記念事業として都民へ公開展示します。

【トップアスリートクリニック例】

【エキシビジョンマッチ観戦】

スポーツ実施率の向上(自主事業)

子どもの健全な成長を図る「忍者教室」「ヘキサスロン」「走り方教室」プログラムの実施

- 忍者ごっこを子どもの成長に必要な動きを取り入れてB社が属する企業グループが独自開発した運動遊びプログラム「忍者教室」を実施し、遊びから身体を動かすことへの興味関心を高めます。
子どもの運動能力を安全かつ効果的に高める独自の「ヘキサスロン」プログラムで、ハードル走や円盤投げ、ハンマー投げ等を行い、運動能力として求められる「走る」「跳ぶ」「投げる」動きを自然と習得します。
子どもが運動することを避ける、嫌いになる原因のひとつに走ることが苦手な(遅い)ことが挙げられますので、早く走るコツを習得することで、苦手を克服して運動が好きになる子どもを増やします。

【忍者教室】

【ヘキサスロン】

スポーツ実施率の向上 (自主事業)

一般成人～シニア層を対象にしたスポーツ実施率 (習慣率) を高めるプログラムの実施

- 幅広い年齢層が日常生活で取り入れることができるジョギングの入門講座を実施し、本施設周辺の公園(園路等)の利活用の促進と都民のスポーツ実施率(習慣率)の向上を図ります。
- 健康志向の幅広い世代から関心の高い「体幹トレーニング」や、ヨガ・ピラティス・ストレッチ等の「身体調整プログラム」を会議室等で実施します。

【ジョギング入門講座】

働き世代が個人で参加しやすい、子育て世代が親子で参加しやすいプログラムの実施

- 働き世代の「久しぶりにボールを蹴りたいなあ」、「仲間が集まらないなあ」という声に応えるため、個人参加型のフットサルプログラムを実施し、スポーツでつながることができる機会を増やします。
- 子ども対象の「忍者教室」の親子参加型「おやおこ忍者教室」や、運動しながら親子で防災を学ぶ「キッズレスキュー」を2年目以降に計画します。

【身体調整プログラム】

利用者に対するサービス提供事業

本施設や周辺の公園施設等の利用者の利便性を向上する飲食販売や物品提供の事業

- 当団体は、本施設や周辺の公園施設等の利用者の利便性向上のために、飲食物や物品の販売、猛暑の涼しく楽しめる水浴びイベントを利用者サービス提供事業として4つの事業を提案します。



【食事メニューの自販機設置】



【キッチンカーの誘致】



【猛暑対策(水浴びイベント)の実施】

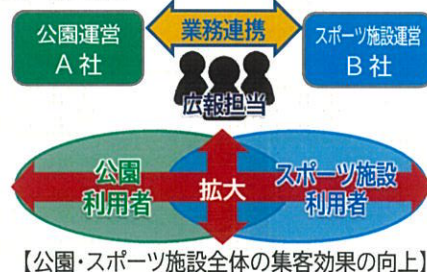


【測定&オーダーメイドインソール販売】

広報活動

広報業務の業務連携により集客効果を高め、情報配信を効率よく実施

- A社が海上公園南部地区全体および公園部分の広報を担当し、B社が大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場の広報を担当します。
- B社から広報業務のリーダーとして「スポーツイベント受付担当」を配置し、「受付担当スタッフ」とともに、施設内外での広報・インフォメーション業務(※下図参照)を実施し、公園・スポーツ施設全体の集客効果向上を図ります。



【公園・スポーツ施設全体の集客効果の向上】



【スマートフォンでも使いやすいホームページ(イメージ)作成・運用】



【チラシ・パンフレット配布】



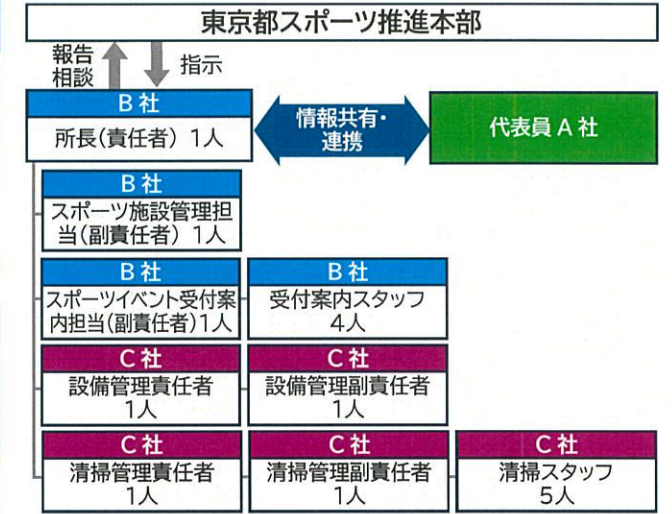
【掲示板での情報掲示】

事業者名・団体名

組織および人材

効果的かつ効率的であり、責任が明確な管理運営体制の構築

- 当団体は大井スポーツセンターを拠点に、効果的かつ効率的な管理運営体制を構築します。



【本施設管理運営体制図】

全スタッフ共通で受講する研修と本施設特有の専門的なスキルを習得する研修の実施

- 当団体は、全スタッフが共通して理解、認識しなければならない項目については、代表員A社の研修チームによる基本研修や導入研修を実施し、専門研修としてB社はスポーツ施設予約や運動プログラムに関する研修、C社は維持管理業務に関する10ハイリスク研修やリスクアセスメントやヒヤリハットをテーマにした研修を実施します。

| 種類 | 内容 |
|--------------------|---|
| 基本研修 (全スタッフ対象) | 公園での業務全般の基礎講習、指定管理者制度について、接遇、コンプライアンス研修、ユニバーサル接遇研修等 |
| 導入研修 (新規スタッフ対象) | 新規採用スタッフには、当団体が目指すビジョンや、公の施設の管理運営に求められる知識やスキルが身に付く研修を実施 |



【専門研修(運動プログラム)】 【専門研修(維持管理業務)】

施設・附属設備及び物品の維持管理

施設・附属設備の安全性・快適性・機能性の維持、環境負荷低減と利用者満足度向上を実現

- C社は次の9つのポイントを踏まえて保守計画を実施します。

| 保守計画実施方針の9つのポイント | |
|------------------|---|
| ① | 年間・月間の定期点検計画を策定し、法令や仕様書に基づいた点検・保守を実施します。 |
| ② | 有資格者による専門的な点検・整備を徹底し、設備の安全性・機能性を常に維持します。 |
| ③ | C社の専門技術管理チームによる巡回・点検・管理、協力企業による専門性の高い点検、さらに利用者からの情報提供等の多様な視点をふまえてPDCAマネジメントサイクルを実施し、品質を確保します。 |
| ④ | 点検結果や不具合情報などは、導入する でデータの一元管理し、迅速な対応と予防保全を推進します。 |
| ⑤ | 長中期修繕計画を立案し、ライフサイクルコストを意識した計画的な修繕・更新を実施します。 |
| ⑥ | 照明や空調などエネルギー多消費設備は、エコチューニング技術者やエネルギー管理士による診断・分析データに基づき、運転時間・設定温度の最適化、不要機器の停止、センサー制御、ピーク時消費電力削減など、設備最適化と省エネ運用を徹底します。 |
| ⑦ | 常駐設備員による使用量の集計・分析、環境情報を用いた自動制御、適切な点検・保守を実施し、効率的な運転を実現します。 |
| ⑧ | 協力企業への委託については、メーカー等の専門業者の選定基準や作業内容、品質管理方法、情報共有体制を明確化し、委託先との連携を強化します。 |
| ⑨ | 利用者や関係者からの意見・要望を定期的に収集し、保守計画や作業内容の改善に反映します。 |

海上公園南部みらいパートナーズ